

平成30年度BSCフォローアップシート（年度末評価用）

病院(所属)名: 精神医療センター

区分	シナリオ	戦略的目標	BSCの当初目標設定内容			年度末進捗状況			評価・今後の対応		
			業績評価指標	数値目標	主なアクションプラン	アクションプラン実績	数値目標実績	5段階評価			
顧客の視点		政策医療の充実	措置鑑定医の派遣 (院内鑑定を含む)	70	1	司法機関・保健所・警察・消防・精神科救急情報センター等との連携強化	関係機関と連携し、計画どおり進行している。	88	S	司法鑑定の要請には断ることなく受け入れるなど、司法・行政機関等と緊密に協力できた。	
		政策医療の充実	救急情報センター通報入院患者数	15	2	・救急事業と空床確保状況の分析と評価 ・空床確保システム運用実績の分析と改善	精神科救急システムでの患者受入れを行っている。	21	S	週3日、急性期病棟での空床確保会議においてベッドコントロールについて協議し、緊急入院に備えて空床(保護室、個室)確保の維持に引き続き努めていく。 また、個室化改修工事に向けて準備を進める。	
			救急・緊急診療の受入件数	110			休日・夜間の救急診療受入れは、昨年度実績を上回ったが目標値に届かなかった。引き続き救急受診を必要とする患者の受入れを促進する。	103	B		
			アルコール延べ患者数(外来)	2,850			3	県アルコール健康障害対策推進計画における専門医療機関としての役割の検討	アルコール専門外来やリハビリプログラム等の取組やアルコール・薬物依存症診療検討委員会等で地域医療との連携や啓発活動等について検討協議している。		2,817
		司法精神医療の充実	思春期延べ患者数(外来)	3,100	4	思春期外来運営システムの拡充	思春期診療検討委員会等で、現状と課題について協議し解決を図るとともに、カンファレンスを開催し職員のスキルアップに取り組んだ。	2,504	B	外来思春期患者数は目標値を下回っている。今後も中高生・発達障害・摂食障害の外来患者への対応を推進していく。	
			司法精神医療の充実	退院者数	7	5	医療観察法ネットワーク会議を通じた関係機関との連携強化	入院患者は9名、退院者は7名であった。 開床以来(H25年11月)32名が退院し社会復帰を促進している。	7	A	精神疾患により重大な他害行為を行った人に対して、手厚い専門的な医療を提供するとともに、医療観察制度に基づく指定入院医療機関として、保護観察所の支援のもとで、保健所・関係機関と連携を図り社会復帰を促進している。
			地域医療・福祉との連携強化と支援	平均在院日数(1, 2病棟)	90日	6	退院支援体制の検討及び地域関係機関との連携強化	多職種によるカンファレンスを実施し、退院に向けての支援体制を整えている。	80.7	A	平均在院日数(1, 2病棟)は目標値を上回ったが、長期入院者の退院者数は下回っており、引き続き多職種による退院促進をセンター全体で取り組んでいく。 地域医療連携のより一層の推進のため、今後、クリニックや一般診療科との地域医療連携の充実を図ることとする。
		長期入院者(1年以上)の退院者数		7	7	多職種によるカンファレンスの実施		4	D		
		紹介率		46.7%	8	精神科クリニックや病院との連携強化	紹介率は目標を下回ったが、逆紹介率は患者の転院などもあり増加した。新規入院患者数は目標値に到達した。	36.2	C		
		逆紹介率		40.0%				47.7	A		
		新規入院患者数(1, 2病棟)		345		地域医療との連携強化		346	A		
		地域精神保健福祉活動への支援活動回数		75	9	・地域保健所等との連携強化 ・市町への講演活動	医局は、保健所において専門相談を実施するとともに、地域医療連携係は、市町等での講演を実施した。	40	D	保健所での専門相談や市町等への講演などより一層の充実を図る。	
		患者サービスの向上	入院患者満足度調査評点(1, 2病棟)	4.5				3.3	C	調査結果については、サービス向上委員会で分析し、必要な改善等を図っていく。	
			入院患者満足度調査評点(3病棟)	4.5				3.4	C		
			外来患者満足度調査評点	4.5	10	患者満足度調査の実施・結果分析・業務改善	サービス向上委員会で入院・外来患者等を対象として10月に調査を実施した。	3.9	B		
作業療法満足度調査評点	4.5					4.0	B				
デイケア満足度調査評点	4.5					4.2	B				

平成30年度BSCフォローアップシート（年度末評価用）

病院(所属)名: 精神医療センター

区分	シナリオ	戦略的目標	BSCの当初目標設定内容			年度末進捗状況			評価・今後の対応	
			業績評価指標	数値目標	主なアクションプラン	アクションプラン実績	数値目標実績	5段階評価		
財務の視点		収支改善	経常収支比率	101.2%	11 経営状況の院内周知	管理会議・病床管理運営委員会等において、決算、予算、月次収支状況や病床利用率など随時報告し、経営・運営状況の院内周知に努めている。	101.8	A	引き続き、会議・委員会等で現状報告していくとともに、持続的経営安定化に向けて改善策等協議していく。	
			医業収益に占める職員給与費の割合	88.7%			99.7	B		
内部プロセスの視点		急性期患者対応の拡大	病床利用率(1, 2病棟)	85.0%	12	・地域生活支援部との情報共有 ・病棟、外来間の情報共有 ・空床確保の情報共有	毎月開催の病床管理運営委員会等で入退院の動向や患者の状況等を把握しながら病床を管理することにより、病床利用率は前年度実績よりは上昇した。	75.8	B	アルコール関連等の入院患者を増やすため、一般病院との連携を強化していくとともに、個室化改修工事に向けて準備を進める。
		医師確保の推進	常勤医師の定数に対する充足率	71.4%	13	医師招聘に向けた方策の検討と情報発信	大学等との連携強化や医師による個別の要請を継続して行い、また研修医の受入れ拡大、ホームページなどによる情報発信に取り組んでいる。	60.7	B	非常勤医師も含め、引き続き医師の早期確保に向けて取り組んでいく。
		医療安全の徹底	アクシデント件数(レベル3b以上)	3以内	14	・インシデント・アクシデントの分析・対策・評価 ・医療安全研修への参加促進	活発に医療安全活動を実施したが、アクシデント(3b以上)が2件発生した。	2	S	早急に対策が必要な内容に関しては、医療安全ニュースを発行するなど、職員に周知している。
			アウトブレイク件数	0件	15	・感染リンクナースによる感染防止活動の実施、評価 ・感染対策研修会への参加促進	感染管理認定看護師と病棟リンクナースが協力し、スタッフ、患者への指導を行い感染対策の普及を行っている。	0	A	感染予防対策研修の開催や病棟内リンクナースがリーダーとなり感染防止意識の浸透や感染症持込み防止対策に取り組んでいく。
業務改善の推進	1人当たり時間外勤務時間数	20	16	・各種委員会の見直し ・時間外勤務時間数の削減	統合や提出案件の集中化による委員会数・開催回数の縮減など委員会の運営上の見直しに取り組んだ。時間外勤務時間数は、目標値を下回ることができた。	8.6	S	毎月の管理会議等において、各部署の時間外勤務の実績を報告し、引き続き削減に努める。		
学習と成長の視点		職員満足度の向上	「今後もこの病院で働きたい」肯定者割合	80%	17	職員満足度調査の周知徹底、調査結果の分析と改善に向けた方策の検討	職員意識調査を実施し、肯定的回答割合が目標値および昨年度を上回った。	81.3	A	引き続き意見の反映に努めていく。
		職員教育の充実	学会・論文等発表数	20	18	論文・学会発表、専門誌への投稿の奨励	年度前半は発表等が伸びず、後半に向けて学会へ参加するなど論文等作成・発表を奨励した。	10	D	職員が積極的に情報発信出来るように引き続き努める。
			全職員向け研修開催回数	30	19	委員会主催等の研修計画の策定、情報提供	研修開催の周知や研修内容を工夫するなど職員が積極的に参加できるように努めた。	34	A	引き続き研修を計画し、開催周知に努め、職員教育の充実を図る。